

## ■効果の見える治水事業

### 徳島県 新池川 地震高潮対策河川事業

徳島県 東部県土整備局 副局長  
やまと あきひと  
大和 章人



○事業概要 新池川は、鳴門市の中心部を流れ、撫養川に流れ込む河川延長4.6km、流域面積7.3km<sup>2</sup>の低平地河川であります。鳴門市の中心部は低平地が広がり、ここを流域とする内水河川は高潮時に海水の逆流により洪水が流下できなくなることで浸水被害を引き起こします。

昭和36年の第2室戸台風の被害をはじめ、古くから高潮や内水による甚大な浸水被害に繰り返し見舞われてきました。

昭和49年度から高潮対策事業により、高潮を防護するための水門、及び内水排除のため排水機場の整備を進め、昭和58年に概成し、浸水被害の軽減に効果を発揮しておりました。

平成16年の台風23号の来襲により再び大きな浸水被害を受け、排水機場における内水排除能力の増強が必要となり、平成21年度から新池川排水機場（既設ポンプ2台で毎秒8.5m<sup>3</sup>）に毎秒4.5m<sup>3</sup>のポンプを増設する工事に着手し、平成23年7月に完成しました。

このポンプ増設により、より一層の浸水被害の軽減が図られるものと考えております。

- 施行箇所 徳島県鳴門市
- 施行期間 平成21年度～平成23年度
- 施行内容 ポンプ増設1基（毎秒4.5m<sup>3</sup>）



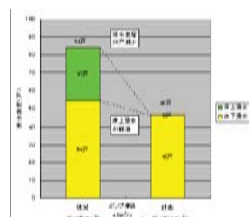
新池川排水機場



ポンプ増設



浸水状況(平成16年台風23号)



ポンプ増設効果

## ■「新池川排水機場のポンプ増設に期待すること」

徳島県鳴門市長 泉 理彦



鳴門市は、徳島県の東北部に位置しており鳴門海峡をへだてて淡路島に對峙し、本州と結ぶ四国の東玄関をなしています。特に北部は瀬戸内海国立公園に指定され、北に播磨灘、東に紀伊水道をのぞみ、鳴門海峡の急流と逆巻く渦潮でその名を知られた景勝地であります。

新池川は、撫養川の水位に影響を受け、高潮時には強制排水のみに頼らざるを得ないのが現状であり、大雨のたびに洪水被害が発生していました。特に甚大な被害が発生した平成16年の台風23号につきましては、記録的な降雨により異常出水となったもので、当排水ポンプ場の排水能力を上回る増水があり、周辺地区におきましては、多数の床下、床上浸水が発生しました。このように、治水事業の推進は、当市にとって最重要課題でありましたところ、県におかれては地震高潮対策河川事業による新池川排水機場のポンプ増設に、ご努力をいただき平成23年7月にポンプ1基（毎秒4.5m<sup>3</sup>）の増設が完了いたしました。この度の、平成23年の15号台風におきましては、平成16年の23号台風以上の記録的な降雨にもかかわらず、浸水被害を軽減する効果を発揮しています。今後も、消防団及び自主防災組織との連携を強化するとともに、住民の防災意識の高揚を図り、市民の皆様が、安心して暮らせるまちづくりを目指し、尽力していきたいと思っておりますので、関係機関の皆様方には、引き続きご指導、ご協力をお願い申し上げます。



名勝・鳴門  
渦潮は全国的な名所であり、鳴門公園には多くの観光客が訪れる。



鳴門市の浸水状況(平成16年台風23号)  
新池川付近